

## 富津市社会教育委員会議録

1 会議の名称	平成22年度第2回富津市社会教育委員会議
2 開催日時	平成22年12月21日 午後 3時05分～午後 4時30分
3 開催場所	富津市役所502会議室
4 審議等事項	(1) 生涯学習推進計画について
5 出席者名	(委員) 小泉清治、黒岩功充、三富和彦、木村忍、 小曾根勝己、柳川通雄、小泉とき、平野武男、佐 久間勇、綾部雅喜、高橋栄二 (事務局) 渡辺教育長、吉原教育部長、進藤生涯 学習課主幹、當眞主査、小川主事、羽山非常勤一 般職
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)
8 傍聴人数	0人(定員 5人)
9 所管課	教育部 生涯学習課 社会教育係 電話 80-1345
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

第2回 富津市社会教育委員会会議録

発言者	発言内容
(事務局) 進藤主幹	(本日の会議が、委員定数15名のうち、出席委員11名、欠席委員4名のため、会議が成立することを説明。平成22年度第2回富津市社会教育委員会議の開会を宣言)
(委員長) 小泉委員長	(小泉委員長挨拶)
(事務局) 渡辺教育長	(渡辺教育長挨拶)
(事務局) 進藤主幹	(会議の公開についての説明) 議題に入る前に、会議録署名人の選出について協議願いたい。これより議事の進行は小泉委員長にお願いしたい。
(議長) 小泉委員長	議題に入る前に、会議録署名人についてだが、私の指名でよろしいか。
委員一同	異議なし。
(議長) 小泉委員長	それでは、会議録署名人は、私と木村忍委員でよろしいか。
委員一同	異議なし。
(議長) 小泉委員長	会議録署名人は私と木村委員に決定する。 会議次第の4報告に入る。(1)第45回君津地方社会教育推進大会について、当日参加した黒岩副委員長に報告をお願いしたい。
黒岩副委員長	まず、11月17日の第45回千葉県社会教育振興大会において、表彰を受けることができた。これも皆さんの御指導の賜物であると深く感謝するとともに、非常に名誉なことと思っている。厚く御礼申し上げる。

それでは、報告に入る。第45回君津地方社会教育推進大会については、7月24日(土)かずさアカデミアホールの201会議室で開催された。富津市社会教育委員は、小泉委員長、三富委員、綾部委員、小曾根委員、柳川委員、高橋委員、私黒岩の7名と、事務局は山中次長、進藤主幹、當眞主査の3名が参加した。

表彰状の贈呈では、富津市文化協会の進藤利夫氏と前社会教育委員の藤川正美氏の2名に、永年の社会教育振興への功績に対して、表彰状が授与された。

また、本大会に共催している新日本製鐵株式会社君津製鐵所が社会貢献賞として制定しているクローバー賞を、富津市では「おやこ遊遊ひろば」が受賞された。

式典後、講師に国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官の笹井宏益氏をお招きして、「世界が注目する“君津地方”の社会教育」と題して記念講演が行われた。社会教育に対して、違った観点からのお話を聞くことができ、非常に感銘を深くした。特に歴史ある君津地方の社会教育は、学習を広め、住民相互が交流する拠点施設として大きな機能を発揮している公民館活動によって、地域の居場所が作られ、人づくりによる産業振興が図られている現状を世界が注目し、アジア、ヨーロッパなどからの視察者が多く訪れるようになってきているという話があった。こういったことは、私たちにとって目新しい話であり、知らなかった分野であったので、非常に参考になった。この講演により、君津地方の社会教育活動に自信を持つとともに、新たな使命感と責任感が生まれた講演であったと感じている。

記念講演終了後、大会決議文が参加者全員の賛成の下に採択され、閉会となった。平成22年度は君津市社会教育委員が中心となって大会を開催し、318名の参加で昨年度を大きく超え盛大に開催された。平成23年度は富津市が開催市となるので、委員の御協力をお願いしたい。報告は以上である。

(議長)  
小泉委員長

何か質問はあるか。

なければ、(2)君津地方社会教育委員連絡協議会移動研修会について、佐久間委員より報告をお願いしたい。

佐久間委員

それでは、私から平成22年君津地方社会教育委員連絡協議会移動研修会について御報告させていただく。10月7日(木)に、富津市が当番市として開催されたが、勝浦宇宙通信所と県立中央博物館大多喜城分館の2つの施設を視察してきた。参加者は総勢18名で、富津市からは小泉委員長、黒岩副委員長と私、事務局は進藤主幹と小川主事の5名が参加した。

まず、勝浦宇宙通信所についてだが、その前身は昭和43年2月に、科学技術庁宇宙開発推進本部の勝浦電波追跡所として発足した。直径13メートルと10メートルの大型パラボラアンテナ2基を使い、人工衛星を追跡し、データのやり取りをしているということである。さまざまな電波障害の影響を受けにくいという理由で、場所が選定されたようである。主な業務は、人工衛星の維持管理で、具体的にはデータ中継技術衛星「こだま」、陸域観測技術衛星「だいち」、赤外線天文衛星「あかり」、太陽観測衛星「ひので」、技術試験衛星Ⅷ型「きく8号」、超高速インターネット衛星「きずな」、温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」の計7基の人工衛星の追跡・管制を行い、データの交信をしているということである。

小惑星「イトカワ」に着陸して、7年の歳月をかけて奇跡的に戻ってきた小惑星探査機「はやぶさ」の話は、皆さんもご存じと思うが、それに関するビデオも鑑賞した。

説明員の方が、2025年までには、日本で開発したロケットで宇宙に行けるようになるという希望的な話をしてくださった。よく、「2位ではだめなのか」という話があるが、やはり1位でなければだめだと感じた。夢のある話は、社会教育委員についても同じだと思う。もう一線を退き、広報用に利用されている直径18メートルのパラボラアンテナを操作したり、バスの中でもいろいろな情報交換を行った。4市社会教育委員の親睦も深まり、大変意義のある移動研修会だったと思う。以上で報告を終わる。

(議長)

小泉委員長

何か質問はあるか。

今、お話があったように、勝浦市に衛星と交信している施設があるということで、大変勉強になった。

続いて、(3) 富津市民文化祭2010についてだが、これは私から報告したい。富津市民文化祭2010については、本日10時

から中央公民館で行われた公民館運営審議会会議の中で結果報告があった。富津市民文化祭2010は、宮内和男実行委員長の下、10月29日（金）から11月3日（水）までの6日間、富津公民館、中央公民館、市民会館、総合社会体育館の4会場で開催された。

ポスターについては、市内小中学校に募集したところ、115点の応募があった。その中から優秀作品として、湊小学校5年森田和花菜さんの作品がポスターに採用された。

また、テーマは市内小中学校及び一般から募集したところ、246点の応募があった。その中から優秀作品として、一般の石井ひでみさんの「楽しく参加 見て感動 行ってみんな文化祭」がテーマに採用された。

小中学校音楽の集いは、10月29日（金）富津公民館で開催された。日ごろの練習の成果が本番で発揮され、各学校ともすばらしい歌声を聴かせていただいた。参加者は1,300人で、父兄の観客が多かったようだ。

10月30日には、子どもまつりが台風のために中止となり、非常に残念だった。それでも、今年はスタンプラリーを実施したところ、590人の参加があり、好評だった。

文化祭全体の出演・出展者数は3,978人、展示部門作品数は約3,001点、芸能部門・催し物部門の曲目数は312曲、子どもまつり部門の種目は9種目で、参加者は総勢12,714人であった。日ごろの活動成果による作品または芸能発表等、大変すばらしい内容だったと思う。なお、昨年度の観客数は、14,692人であったので、1,978人の減少となったが、これは30日から31日にかけての台風の影響によるものだと思われる。

文化祭についての報告は以上だが、質問等はあるか。

綾部委員

今、参加者が12,714人ということだったが、行事の参加者数はどのように把握しているのか。

(事務局)  
進藤主幹

生涯学習課は、文化祭では総合社会体育館の展示部門を担当したが、来場者を午前と午後、男女に分けて、それぞれ正の字を書いて人数を確認している。

他の公民館などでは、展示部門では各部屋で人数を把握したり、

	<p>芸能部門も入口で人数を確認したりして人数を出している。</p>
<p>綾部委員  (議長) 小泉委員長</p>	<p>了解した。</p> <p>他にはどうか。</p> <p>ないようなので、(4) 第45回千葉県社会教育振興大会について、柳川委員に報告をお願いしたい。</p>
<p>柳川委員</p>	<p>11月17日(水)千葉県総合教育センターにおいて、第45回千葉県社会教育振興大会が開催され、富津市からは社会教育委員が小泉委員長、黒岩副委員長、私の3名と、事務局の進藤主幹が参加した。</p> <p>先ほどお話があったが、黒岩副委員長が個人の部で千葉県社会教育委員連絡協議会社会教育功労者表彰を受賞された。</p> <p>その後、記念講演があり、NPO法人ニッポンランナーズ理事長の金哲彦氏の講演があった。マラソンの解説などで有名な方で、箱根駅伝に出場されたこともあり、その後NPO法人を立ち上げたということである。演題は「生涯健康でいられるための生き方と考え方～体幹理論とその実践～」であった。その中で、非常によいお話を聞いた。金氏は以前大病をされて、何年間か療養生活を送られたそうだが、今は元気に暮らしているそうである。内面から健康になることや、自分の目標や希望を持って生きるということなど、よいお話を聞くことができた。</p> <p>また、事例発表ということで、3つの団体から発表があった。各市とも活発に活動をしており、富津市も負けてはられないと感じた。富津市もいろいろなところで活動しているので、こういった発表できる機会があればよいと思った。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>何か質問はあるか。</p> <p>ないようなので、(5)平成23年成人式について、私から本日の午前中に行われた公民館運営審議会の内容を報告したい。</p> <p>成人式については、2年前から、消防の出初式が行われる日の午後で開催している。午後に行くようになってから、準備が楽になったという話をよく聞くようになった。今年の対象者は、平成2年4</p>

月2日から平成3年4月1日までに生まれた市内居住者447名ならびに市外転出者で出席を希望する者が該当する。式典は今回も新成人の司会進行で始まり、「成人としての主張」は例年どおり、富津、大貫、佐貫、天羽、峰上地区の各代表1名、合計5名が発表する。その後、「成人に贈ることば」は天羽中学校の代表が行い、午後3時に終了予定である。詳細については、お手元にある開催要項を御覧いただきたい。

なお、社会教育委員の皆さんにおいても、成人式にぜひ参加していただき祝っていただきたい。また、委員の中には、公民館運営審議会委員と社会教育委員を兼務されている方もいるが、紹介の時に役職を呼ばれたらその都度起立していただきたいとのことである。

以上だが、成人式について、何かあるか。

(事務局)  
吉原部長

成人式において、今まで記念品として写真を贈呈していたが、今回はDVDと写真の両方を贈呈することを計画している。費用は1枚70円から80円前後だが、今回は試行ということで、経費を集めずに行いたいと考えている。CDの場合は、画像が200枚程度しか入らないので、DVDで500枚くらい入れたいと思う。

試行にする理由は、写真を撮るのは嫌だという人や、勝手に撮られたくないという人もいると考えられるためである。式が始まる前に放送で協力をお願いするようにするが、場合によっては中止ということも考えられる。そういう意味で、今年度は試行という位置付けで成人に対する新たなサービスを行いたいと考えている。

(議長)  
小泉委員長

これは佐久間委員から記念写真以外にも何かできないかという話があり、いろいろと検討した結果、今あったように試行でDVDを渡すことになった。記念写真については、この近辺の市でも贈っているようだが、さらにDVDも贈るという画期的な案が今年まとめ、部長の説明のとおり、予算をかけずに行うことになった。これが試行ではなく、毎年続いていければよいと思う。

成人式に関して、他に何かあるか。

綾部委員

このあいだ、公民館だよりか何かで、対象者に「富津市に勤務している人」というようなことが書いてあった。この成人式の要項よ

<p>(事務局) 吉原部長</p>	<p>りも対象者の幅が広がるが、そういった人も参加できるのか。</p> <p>住民票を他市へ移したが、出身地である富津市の成人式に出席したいということであれば、それは可能である。</p> <p>富津市に住民票を移してなくて、以前住んだこともなく、現在こちらに勤務しているという場合は、知人などがいないので申込みはないだろうと思われる。今、資料を確認する。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>それでは、資料を確認してもらうこととして、会議を進めたい。他に何かあるか。</p> <p>ないようなので、次に移りたい。(6)第11回富津市生涯学習推進大会についても、私から説明したい。</p> <p>9月22日に富津市生涯学習推進協議会が開催され、第11回富津市生涯学習推進大会について審議が行われた。今回の大会は、市制施行40周年記念事業として行われる。</p> <p>開催の趣旨は、「いつでも・どこでも・だれでもが生涯学習に関われるように支援し、自分自身の資質向上はもとより市民憲章に掲げる住みよいまちづくりに寄与する」であり、主催は富津市、共催は富津市民憲章推進協議会、富津市社会教育委員、公民館運営審議会、主管は富津市生涯学習推進協議会である。</p> <p>期日は、平成23年2月6日(日)13時20分から、会場は富津公民館である。日程については、大会の前に教育委員会表彰を行うことになっている。</p> <p>司会進行は、昨年と同様に中央公民館のサークルであるグループクレマチスが行う。</p> <p>今年のオープニングは、君津商業高等学校の吹奏楽部による演奏をお願いすることとなった。</p> <p>講演は、講師に作詞家・作曲家・編曲家の花岡優平氏を招き、「花岡優平トーク&amp;ライブ～人生は音楽と共に～」の演題で行う。講師の花岡優平氏は、紅白出場で話題となった秋元順子さんが歌う「愛のままで・・・」の作詞・作曲・編曲、大泉逸郎さんの「孫」の編曲、岩崎宏美・柏原芳恵・高田みづえ・香田晋などの作曲やNHK教育テレビ番組「おかあさんといっしょ」の歌の作曲も手掛けている。</p>



なお、講演終了後、花岡氏の CD を抽選で 10 名の方にプレゼントする予定である。詳細については、お手元の開催要項を御覧いただきたい。

以上だが、何か質問等はあるか。

ないようなので、次に移りたい。

それでは、5 議題の (1) 生涯学習推進計画について、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)  
當眞主査

それでは、お手元の「富津市生涯学習推進計画 (案)」により、説明する。何かお気づきの点があれば、後ほど事務局までお願いしたい。

現行の推進計画は、本文 87 ページ、資料編 78 ページの構成となっていた。新たな計画においては、本文 39 ページ、資料編 32 ページの構成となっている。上位計画である第 3 次基本計画を踏まえながら、新たな推進計画を教育委員会内部で検討を重ねるとともに、広く市民からの意見や要望を取り入れるために設置した生涯学習推進協議会からの御意見も参考にしながら、市長を本部長として設置している生涯学習推進本部及び生涯学習推進本部幹事会での意見を集約し、今回の (案) 提示することとなった。

それでは、案の内容について説明する。

表紙をめくると、富津市生涯学習推進本部長である市長のあいさつ、次に富津市民憲章、富津市家庭憲章、富津市紋章、富津市の木・花となっている。

次に目次だが、現行の推進計画と変更になった点は、序論、基本構想、基本計画、資料編というように分けていたが、今回の (案) では、序章、第 1 章、第 2 章、第 3 章、第 4 章、資料編というように章立てを変更している。また、資料編については、現行の推進計画では生涯学習関連施設、生涯学習活動の紹介、指定文化財、学校体育施設の開放、生涯学習推進大会、言葉の説明となっているが、今回の (案) においては、市民アンケート結果、生涯学習関連施設、生涯学習推進体制、言葉の説明の順となっている。

1 ページ目からの本文に入る。序章「生涯学習推進計画の策定にあたって」では、文言の変更をした。また、序章に計画期間を明記することとした。計画期間については、富津市第 3 次基本計画と合

わせて平成23年度から平成27年度までの5か年とする。これまでの推進計画は、市の基本計画と1年のずれがあった。次の計画が立つと6年間の遅れが出るので、この見直しを図った。

次に3ページだが、第1章「生涯学習社会に向けての基本的な考え方」は、現行の推進計画の第1節を2つに分割し、第1節「生涯学習とは」と第2節「生涯学習の必要性」とした。また、第1節・第2節ともに、若干文章を整えた。

6ページの第3節「生涯学習をめぐる動向」は、現行の推進計画策定以降の国が打ち出した生涯学習に関連する施策について記載している。平成18年12月に教育基本法が約60年ぶりに改正され、新たに「第3条 生涯学習の理念」が規定された。「生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ」ることが生涯学習の理念とうたわれている。この教育基本法の改正により、社会教育法、関連する図書館法・博物館法も改正された。また、平成20年2月には、中央教育審議会答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について～知の循環型社会の構築を目指して～（答申）」が出されている。そこでは、生涯学習は、社会教育や学校教育そのものではなく、そこで行われる多様な学習活動を包含し、生涯学習には個人が行う組織ではない学習などがあると規定している。また、「知の循環型社会」を構築するためには、各個人が、自らのニーズに基づき学習した成果を社会に還元し、社会全体の持続的な教育力の向上に貢献することが求められている。また、教育基本法第17条第1項の規定に基づき、教育振興基本計画が政府により策定されている。

8ページからは、第2章「富津市の生涯学習の現状と課題」だが、第1節「富津市を取り巻く環境」については、現状は現計画に沿って分析したものとなっている。変更点は、8ページの富津市の広ぼうの緯度経度を世界測地系に変更している。

次に、第2節「市民アンケートから読み取れる現状」の15ページ以降については、過去のアンケート結果から見えてくる生涯学習の現状についての検討である。平成9年、平成16年、平成21年に行われたアンケート結果から市民の意識の変化を読み解いている。

16ページの「生涯学習で得られたことはなんですか」という質

問のアンケートの比較からは、前回の調査においては「新しい友人が増え人間関係が広がった」という市民が多かったが、今回の調査では、「ストレス解消になった」という回答が一番多くなっている。昨今のストレス社会の影響が、今回の調査結果に結びついているものと考えられる。

さらに、17ページの「活動をしていない理由は」という質問のアンケートの比較からは、「家事や家族の世話で時間の余裕がないから」が最も多く、「経済的な余裕がないため」と続いている。特に今回の調査で際立っているのは、「経済的な余裕がないため」という回答が平成9年度と比較すると4倍近くに増えていることは、長引く不況が影響しているものと考えられる。

18ページの「市の生涯学習への対応」では、「公民館・図書館施設を充実する」が最も多い回答である。特に施設については、自由回答にあるように「図書館」を望む声が多いことがわかる。

19ページの第3章「富津市生涯学習の理念と目標」については、現行の計画では、基本理念「学びから生きがいを 生きがいをまちづくりへ」と、20ページの基本目標「心と体が健康で、生き生きとした人間性豊かな人づくり」、「人と文化と自然を愛し、潤いのあるふるさと“ふつつ”づくり」と推進体系をこの章に含めていたが、推進体系を第4章「富津市生涯学習推進のための施策」に含めるよう変更した。

次に21ページからは、今までのアンケート結果等を踏まえながら、富津市の生涯学習推進のためにどのような施策を行っていくのかを内容とした章になっている。22ページからは「基本施策」となっている。これは、市民アンケートや現状の事業内容を踏まえて、新たな推進計画の具体的な施策を見直すとともに検討しなおしている。現行の推進計画と大きく異なる点としては、各基本施策を「現状と課題」、「施策指標」、「推進方策」とし、具体的な目標値は第3次基本計画をもとに示している。

また、基本施策を大きく7項目に分けている。それぞれの項目ごとに説明する。21ページを御覧いただきたい。

「1 学習機会をつくる」、副題として「学びたくなる」。1の「学習機会をつくる」には、さらに小項目として(1)学習機会の啓発、(2)学習要求の把握、(3)学習への支援、(4)各種講座等の充

実となっている。

次に、「2 学習情報の提供」、副題として「学びたいことが見つかる」。2の「学習情報の提供」は、さらに小項目として（1）学習情報の収集・提供、（2）学習相談体制の充実となっている。

「3 学習施設を整える」、副題として「学ぶ場がある」。「4 青少年健全育成の推進」、副題は「学びが育てる」。「5 スポーツ・レクリエーションの振興」、副題「健康に学ぶ」。「6 文化・芸術活動の推進」、副題「心豊かに学ぶ」。

この4から6までについては、現行の推進計画には取り上げていなかったが、第3次基本計画との整合性を踏まえ、新たに加えた。

次に「7 学習リーダーの活用」、副題は「学びが広がる、深まる」。7はさらに小項目として、（1）各種団体・企業等との連携、（2）人材の育成と活用となっている。

内容については、後ほどお読みいただければと思う。

資料編については、まず「市民アンケート結果」が43ページから52ページにかけて、第3次基本計画策定のための市民等アンケートから生涯学習に関する項目について再掲している。

次に、53ページから「生涯学習関連施設」、66ページから「生涯学習推進体制」、最後の74ページに「言葉の説明」といった構成となっている。現行の推進計画においては、市内福祉関連施設も含めて広く記載していたが、新たな推進計画については、公共施設のみの記載とした。また現行の推進計画に掲載されている「生涯学習活動の紹介」、「富津市指定文化財」、「学校体育施設の開放」、「生涯学習推進大会」については、資料編をコンパクトにまとめるために割愛した。

今後の予定は、1月4日から31日にパブリックコメントをかける予定となっている。その結果をもとにしてさらに修正し、生涯学習推進協議会、生涯学習推進本部幹事会、生涯学習推進本部会議にて最終決定し、3月末には平成23年度から27年度にかけての富津市生涯学習推進計画を印刷する予定となっている。

以上で、富津市生涯学習推進計画（案）についての説明を終わる。

（議長）  
小泉委員長

富津市生涯学習推進計画（案）に関して、質問等はあるか。

<p>(事務局) 當眞主査</p>	<p>もし、現行の推進計画を持っていない方がおられれば、残部があるので、後ほど事務局まで言っていただければと思う。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>今、事務局から話があったが、必要な方は後で申し出ていただければと思う。</p> <p>生涯学習推進計画（案）について、何か感想や質問があればお願いしたいがどうか。</p> <p>ないようなので、私から言いたい。今回の推進計画（案）は、先ほど説明にあったように、前回のものと比べると大変見やすくなっていると思う。</p>
<p>綾部委員</p>	<p>質問だが、38ページの人材バンク「まちの先生」の利用件数について、いろいろなところで広報活動を行っているようだが、4件しかないのはどうしてか。</p>
<p>(事務局) 當眞主査</p>	<p>利用計画書、報告書が提出されているものが4件である。「まちの先生」の名簿は、各家庭に配布されている情報提供誌に掲載されているので、登録者と直接交渉して、計画書、報告書を提出していない場合は把握できない。</p> <p>生涯学習推進協議会においても、登録者に対して年度末に利用実績を提出してもらってはどうかという意見が出たので、そういった方法で利用件数を把握することを考えている。</p> <p>利用計画書、報告書を提出してもらう理由は、保険をかけるためである。名簿が手元にあると、登録者に直接依頼して、計画書、報告書を提出しないということもあるかと思うので、そういった実態の把握が必要だと考えている。</p>
<p>綾部委員</p>	<p>スポーツの指導などもあるので、実際は件数が多いのではないかと思った。</p>
<p>(事務局) 當眞主査</p>	<p>1回の指導につき1件なので、実際はもっと件数が多いと思われる。</p>

<p>綾部委員</p> <p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>4件では寂しいので、件数を増やせればと思う。</p> <p>このことについては、生涯学習推進協議会の中で、今事務局からあったような意見が出された。実績が把握できていないということで、年に1回問い合わせをしてもらって、把握してもらえたらと思う。</p> <p>他に何かあるか。</p> <p>ないようなので、後ほど資料を読んでいただきたい。また、前回の推進計画も残部があるようなので、必要な方は事務局に申し出ていただき、前回と今回のものを比較していただければと思う。</p> <p>生涯学習推進計画については、3月末の発行に向けて準備を進めるということだが、意見等があれば事務局へ申し出ていただきたいと思う。</p> <p>それでは、議題(1)生涯学習推進計画についてを終了する。</p> <p>次に、6その他に移りたい。事務局から何かあるか。</p>
<p>(事務局) 進藤主幹</p>	<p>平成23年新春・冬季休業中等における行事の紹介ということで、会議資料の13ページに体育振興課の行事、14ページに生涯学習課の青少年相談員等の行事を掲載した。委員の皆さんには、機会があれば御参加いただきたいと思う。</p> <p>また、先ほどの成人式の件については、「市内在住者又は勤務・就学・出身地等の事由により、富津市の成人式に参加を希望する者」を対象とし、市外在住の方は富津公民館にはがき、電話、あるいはFAXで、1月7日までに申し込んでいただきたいとのことである。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>綾部委員、成人式の件については、よろしいか。</p>
<p>綾部委員</p>	<p>住民票がなくても、勤務していれば参加できるということか。</p>
<p>(事務局) 吉原部長</p>	<p>基本的には、私が先ほど説明したとおりである。ただ、遠距離で帰れないが、成人式を祝いたいという方から申し出があった場合は、住民票がなくても受け入れるということだそうである。</p> <p>これについては、外国の方を想定しているそうである。例えば、</p>

	<p>外国の方が17、8歳で日本に来て、日本で成人式を祝いたいという申し出があった場合を想定しているようであるが、今、主幹が説明した内容もあわせて、めでたいことであるので、申し出があれば受けるということだそうである。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>今、説明があったが、どうか。</p>
<p>綾部委員</p>	<p>確かに、会社などに勤めていて、成人式に出席するという話を聞いて、出てみたいと思う人はいると思う。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>他に何かあるか。</p>
<p>小泉とき委員</p>	<p>12月14日に、文部科学大臣より社会教育功労者表彰を受けたので、御報告する。ありがとうございました。</p>
<p>(議長) 小泉委員長</p>	<p>あらためて、おめでとうございます。 他にあるか。 ないようなので、議事を終了する。</p>
<p>(事務局) 進藤主幹</p>	<p>(第2回富津市社会教育委員会議の閉会を宣言。)</p>